拡大中間決起集会（バスレク）
《日　時》10月２日㈰
《場　所》マザー牧場
※申込は各分会へ

けんせつ たま西部

発行所
東京土建一般労働組合
多摩西部支部
昭島市中神町2-4-19
電話　042-546-1577㈹
発行責任者　白倉和行

秋の拡大スタート
出陣式で成果22人

訪問と対話で２％実増

東京土建の一大イベントの「秋の拡大月間」がスタートしました。支部では８月28日、立川パレスホテルで85人が参加して「決起集会」が開かれました（＝写真左）。第１部は「拡大学校」で月間の意義や業務説明で、第２部は「出陣式」で早くも22人の拡大成果の持寄りがあり、目標達成のスローガンをかかげ月間の成功を確認しました（＝写真右の上は高松分会、同下は玉川分会）。

要求実現へ組合を大きく

第１部は清水書記長の開会あいさつに次いで、檜山委員長より「１人では力とならないが3,500人でやると大きな力となる。影響力が全くちがう。これが組織の力だ。学習して組合を大きくしていこう」と訴えがありました。

拡大学校では「なぜ訪問・対話が必要か」と題して、小笠原組織担当書記が「社保未加入対策でいうと、厚生年金・雇用保険は法人なら義務だ。問題は健康保険だ。土建国保プラス厚生年金という手も合法的にある。これを進めることで成果に結びつけることが出来る」などと対話の必要性を力強く訴えました。

次いで、吉野厚生文化担当書記からは新たに開始される「地震保険」の制度説明、堀口賃金担当書記からは「建設業退職金共済」の説明がありました。参加者からは「目標達成して勝利の美酒をいただこう」と意気込みが語られていました。

「組合員3,500人の総活躍支部」の拡大チラシポスターが完成しました。今月中にはみなさんの手元にとどきます。モデルとなったのは拝東一分会の若手の四役の皆さんです。鴫原分会長を中心に今年から初めて役員となった皆さんが力強くポーズを決めています。また、10月２日には「中間決起集会」のイベントも予定しています。千葉県のマザー牧場での「さつまいも狩りとバーベキュー」です。組合加入対話の一つとして未加入者も誘ってください。

組合の先輩たちは「闘って学び、学んで闘う」を合言葉に運動を進めて来ました。成果は数々の業務に表れています。私たちの切実な要求を具体化するにはどうしても力が必要です。この力こそが数であり、結びつき（強化）の度合いです。訪問と対話によって仲間の置かれている様子をつかみ、困っていることがあれば解決する力になる。組合のイベントにかかわって要求の実現を図っていきましょう。

繰り返すな不幸な出来事　平和特集②

前回に引き続き平和特集第２弾です。女性の会・齋藤さんから八王子浅川壕の見学のレポートです。参加した戦争を知らない子供たちも戦争の悲惨さ平和の尊さを学ぶ良い機会になったようです。また、本支部・吉野書記が８月に原水爆禁止大会に参加したレポートも合わせて紹介します。

■防空壕の中のエンジン工場

８月６日㈯に大人９人子ども７人合計16人で、八王子にある「浅川壕」の見学に行ってきました。案内は、「浅川地下壕の保存をすすめる会」の中田さんです。午前９時30分に高尾駅に集合し、防空壕の位置などの説明を受けながら入口まで進みます。民家の玄関前を通り抜けて裏手に向かうと防空壕の入り口があります。

中に入ると急に気温が下がり、長そでを着ていても寒い感じです。照明設備もなく懐中電灯の明かりを頼りに、でこぼこであちこちに水たまりもある道を進みますが、横幅３メートルぐらいで高さは２メートルぐらい、岩肌があらあらしいトンネルがいくつにも枝分かれして続いていました。かび臭く、蝙蝠が飛んでいるこの地下壕は、突貫工事で進められ多くの朝鮮の人たちが強制的に働かされていたとのことでした。

浅川壕見学の集合写真

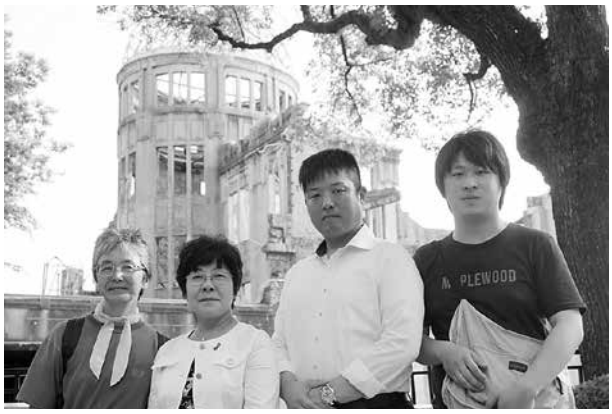
戦後確認された時には大量のダイナマイトが発見された場所も見せていただきましたが、とても危険な現場だったことがわかりました。

女性の会では、子どもたちと戦争の悲惨さを忘れず平和を守っていく取り組みに毎年取り組んでいます。安全保障関連法が可決され戦場がずっと近く感じられる今だからこそ、これからも力を入れていきます。

【女性の会会長　斉藤深幸】

■原水禁大会に参加して

今回初めて「原水爆禁止2016年世界大会」に参加してまず思ったことは、自分の想像していたものよりとても大きな大会だと感じた事です。世界大会という名の通り多くの国から参加され、日本では有名な「第五福竜丸事件」において被爆したのは日本の乗船員だけでなく、マーシャル諸島に住む人々もまたその被害者である事。そして自分たちの故郷に帰れず、移住先で人生を歩んでいるという事を話されていました。


原水爆禁止大会、原爆ドームを背に平和を誓う

自身の故郷をも奪う核兵器を一刻も早く禁止する条約を締結すべく、様々な運動に参加していくべきだと思いました。安倍首相が参列した広島平和祈念式典にも参加し、多くの参列者と共に話を聞きました。その中の一文に、「非核三原則を堅持しつつ、核兵器不拡散条約体制の維持及び強化の重要性を訴える」とありましたが、私はこの解釈として、日本国では核兵器を持たないが、すでに核兵器を所持する核五大国に関して核兵器の完全撤廃には否定的であると感じました。唯一直接被弾・被爆した国として核兵器はあるべきでないと強く意見していくことが重要だと感じました。

【書記・吉野直貴】

新人書記　趣味はゴルフと野球

はじめまして。８月22日㈪に多摩西部支部に配属されました渡邉宏規です。まだ配属され日数も浅く、まずは組合員さんに顔と名前を覚えていただけるよう積極的に動いて行きたいと思っております。一日も早く組合員の皆さんのサポートが出来るよう精進してまいります。趣味はゴルフに野球と体を動かすことです。スポーツの催し物がある際は是非お声掛けください！

【書記・渡邉宏規】

教宣学校開催

7人がインタビュー記事

◀本部教宣部担当の三木専従常任中執を講師に開校しました

８月21日、昭島市福島会館で『支部教宣学校』開催され、12人が参加しました。学校の開催は久しぶりで、参加者は相互にインタビューし、記事にまとめました。
（写真は講師の三木勉さん＝本部）

奥さんと犬二匹、楽しく

労働対策部長　**大関　勝義**

多摩西部支部の組合員の白倉和行さんを紹介します。組合に加入して11年になり業種は建築サービス業の中の建物等の検査をおもにやっています。最初は資材検査の会社員でしたが退社後独立会社をたちあげて現在に至っています。会社経営での大変な事は、元請でなく二次下請けが多く仕事がまばらになりがちで多くの仕事量を確保するのが大変だそうです。営業では付き合いのある幾つもの事業所を訪れ、自分にしかできない仕事をとり重宝がられています。何種類かの検査があるので一種類にこだわらず多岐にわたって仕事をしています。家族は奥様と子供が２人です。子供も手ばなれした時から犬を飼い始め現在２匹います。奥様と２匹の犬で楽しく生活をしています。

リーダーの資質を感じる

立南分会　**佐藤　裕**

中村氏は現けやき分会長です。仕事は吹付け塗装業に携わっています。仕事は神奈川県から高崎市、新潟県と広い範囲だとのこと。若い時より野球や釣りなど活発に活動していたことが彼の人生に大きく影響したようです。仲間作りや、仲間への思いやりなど少しずつ芽生え育っていったと思われます。初対面の私にも気さくで、かといって相手を見下すこともなく、なかなか好感の持てる人です。一般に職人は初対面の人にはなかなか心を開く話し方は苦手となっていますが、彼の場合は相手の話もじっくり聞くという姿勢が伺え、こちらも安心して応対出来ました。組織のリーダーとしての資質を感じた次第です。私の思うに土建のリーダーは明るく元気で楽しく導いてくれる人が何よりも大切な要素ではないでしょうか。これからも彼の躍進を期待します。

建物・家財で
最高1200万円
の保障！

万が一の安心　どけん地震共済

魅力1　お財布にやさしい掛け金設定！

住宅の構造	年掛金（1口あたり）	保証額（全壊時）
木造等	165円（建物・家財とも）	5万円
鉄筋コンクリート	100円（建物・家財とも）	5万円

保障額は、（すべて１口当り）

大規模半壊	25,000円
半壊	15,000円
一部壊	1,500円

魅力2　損保にない仮払い制度で安心！

●地震共済では罹災証明書を給付の判断材料としますが、大規模な震災などで罹災証明書の発行が遅れます。万が一発行が遅れても、加入口数に応じて、一定額の仮払い金を契約組合員の手元にお届けします。仲間の助け合いの精神に基づいたどけん地震共済ならではの制度です。

魅力3　再共済で安心運営を約束！

●どけん地震共済は万が一の震災に備えて、保有リスクを外部に再共済しています。最終的には海外の再保険会社に再保険がかかっているので、大規模な震災にも対応した安定運営が可能です。

2016年度日曜日特別健康診断

◉ **11月27日㈰ 午前9時～12時**
（〆切り11月16日）

会場：あきしま相互病院

東京土建国保に加入する本人および家族（19歳以上）は年度内（4月から翌年3月末）1回に限り健康診断（特定健康診断）を無料で受診することができます。

また、立川相互ふれあいクリニックとあきしま相互病院で健診を受けられる40歳以上の方は「大腸がん検診」が無料となります。この機会にぜひ受診してください。

住宅リフォーム事業者団体 国土交通大臣登録

リカコ リフォームパートナー協議会への 登録事業所を募集します

■リカコとは？

RECACO（一般社団法人リフォームパートナー協議会）のことで、東京土建が設立した団体のことです。国は消費者保護・適正なリフォーム事業者の発展という目的から2014年9月、「住宅リフォーム事業者団体登録制度」を策定。リカコは2016年2月、国より登録の認定を受けました。

■メリットは？

リカコに加入の申し込みをすれば国交省指定のロゴを使用でき、講習会への参加で知識・技能レベルを習得でき、さらには、建築資材の購入も安くなるなどの特典もあります。また、消費者にとっても安心して選定のできる事業者という判断材料になります。

■加入方法は？

組合以外の団体での登録料は年会費数十万円とも言われていますが、東京土建は1万円です。加入登録には建設業の許可や建築士の資格があれば十分です。

※詳しくは支部事務所まで問い合わせください。

たませいぶ 女性の会のとりくみ・・・

女性の会

「新加入者・行動する仲間を増やそう」をスローガンに、秋の拡大に向け、動き始めました。担当役員と共に分会訪問を予定しています。分会訪問では、女性の会担当役員への協力のお願いをしたいと思います。

「顔の見える拡大」として、現会員への訪問も行い、私たちと行動する仲間も増やしていきたいと思います。

皆さんに好評な、アクリルたわしを作成し、協力のお礼として、お渡ししたいと思っています。

ぜひ、ぜひ、たくさんの協力、ご支援をいただけると、私たち女性の会の力となります。

どうぞ、よろしくお願いします。

10月の定例会

と　き：10月19日㈬
　　10：00～正午ごろ
ところ：多摩西部支部会館3F

女性の会への お問い合わせ先
042-546-1577　担当：河村（こうむら）